

様式第13号(その1)(第16条関係)(用紙 日本産業規格A 4 納

再生土、改良ではない場合  
(通常の土砂等)

土砂等発生元証明書

令和4年12月3日

盛土等の許可を受けた者 氏名  
駿遠開発事業 株式会社  
中田産業 有限会社  
代表取締役 村田 康久 様

元請業者名で記入をお願い致します。

土砂等を発生させた者 住 所 静岡市葵区緑ヶ丘 437  
氏 名 町中建設(株)  
代表取締役 吉原 徹  
電話番号 054-354-9999

静岡県盛土等の規制に関する条例第9条の許可に係る盛土等区域に搬出する土砂等について、次の工事等により生じたものであること等を証明します。

工事等の名称	(仮称)平山マンション建築工事
工事等の施工場所	静岡市駿河区平山 716 ほか 8 筆
工事等の発注者	静岡市駿河区平山 219 金持 善一
工事等の施工期間	令和4年6月10日から令和6年3月25日まで
搬出する土砂等の量	430 m <sup>3</sup>
搬出する土砂等の種類	土砂
搬出する土砂等が用いられる盛土等区域の位置	静岡県牧之原市切山字真菰沢 605 番地ほか 42 筆

(注) 「搬出する土砂等の種類」欄には、土砂又は改良土の別を記載すること

- ・土砂等の発生者、場所、工事内容等について記載する。
- ・土砂等の発生者と工事の発注者が同一であってもよい。
- ・「搬出する土砂等の量」は、盛土等が行われる場所で使用される締固め後の土量として記載する。
- ・地歴を確認した土地の利用状況等の調査結果書(参考様式第2号)及び添付資料又は土壌の汚染状況の調査結果及び計量証明書を添付する。

## 参考資料が航空写真・登記事項調査書の場合の記入例

土砂基準物質の取り扱いが無い場合

再生土、改良ではない場合  
(通常の土砂等)

(参考様式第2号)

### 土地の利用状況等の調査結果書

1	調査を実施した土地の地番	静岡市駿河区平山 716、717、719		
2	土砂等の発生場所の土地の所有者の住所、氏名	静岡市駿河区平山 219 金持善一		
3	調査実施者	・自 社(所属：町中建設(株)設計部 氏名：島田川 湊) ・土壌汚染対策法指定調査機関 ( ) ・その他 ( )		
4	調査方法	・資料での確認 登記簿・航空写真で確認した場合 ・ヒアリングの実施 (土地所有者、使用者、従業員、その他)		
5	調査内容			
	(1) 調査の結果、地歴が判明した期間 注2	西暦 1897 年 月 ~ 西暦 2022 年 7 月 ( )		
	(2) 土砂基準物質の取扱いを行っていた工場等の設置の状況	有 ・ 無 ・ 不明		
	(3) 土地利用の状況(地目)	畑		
	(4) 土砂基準物質の取扱い等の状況	なし		
	取扱っていた土砂基準物質の種類及び量	種 類 注1	物質の種類： 物質の種類： 物質の種類：	量 /年 /年 /年
	土砂基準物質の取扱いの内容及び期間			
	土砂基準物質の漏洩等の事故の有無			
6	土砂基準物質による汚染の状況調査の有無 注3	有 ・ 無 ・ 調査中		
7	ダイオキシン対策特別措置法に係る特定施設の届出の有無	有 ・ 無 ・ 不明		
8	その他参考となる事項 注4	なし		

備考 ・土砂等の発生場所を明らかにした図面を添付してください。  
 ・登記事項証明書((登記簿謄本(コピー可))を添付してください。  
 ・過去に有害物質を取扱い等していた場合は、その使用場所がわかる図面を添付してください。  
 ・指定調査機関による分析調査を行っている場合は、分析結果の写しを添付してください。

注1 取扱い等  
注2 調査の経緯  
注3 土砂基準物質の発生  
注4 水質汚濁

#### 【添付書類】

必須：土砂等の発生場所を明らかにした図面(位置図、案内図など)

下記のどれか1つ

- ・当該土地に関する登記事項証明書(コピー可)
- ・指定調査機関による分析調査を行っている場合は、分析結果の写し
- ・国土地理院の現在と過去の写真の対比

紙  
の  
は、

土砂基準物質の取り扱いがある場合 1

再生土、改良ではない場合  
(通常の土砂等)

(参考様式第 2 号)

土地の利用状況等の調査結果書

1 調査を実施した土地の地番	静岡市駿河区平山 720									
2 土砂等の発生場所の土地の所有者の住所、氏名	静岡市駿河区平山 219 金持善一									
3 調査実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自 社(所属：町中建設(株)設計部 氏名：島田川 湊)</li> <li>・ 土壌汚染対策法指定調査機関</li> <li style="padding-left: 20px;">( )</li> <li>・ その他 ( )</li> </ul>									
4 調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料での確認</span></li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヒアリングの実施</span></li> <li>(<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">土地所有者</span>、使用者、従業員、その他)</li> </ul>									
5 調査内容										
(1) 調査の結果、地歴が判明した期間 注2	西暦 1897 年 月 ~ 西暦 2022 年 7 月 ( )									
(2) 土砂基準物質の取扱いを行っていた工場等の設置の状況	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> ・ 無 ・ 不明									
(3) 土地利用の状況(地目)	別添「土地の使用履歴」のとおり									
(4) 土砂基準物質の取扱い等の状況	ガソリンスタンドの敷地として利用(消防法の届出あり)									
取扱っていた土砂基準物質の種類及び量	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">種</td> <td style="width: 65%;">物質の種類：ベンゼン</td> <td style="width: 30%;">1,220 t / 年</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>物質の種類：鉛</td> <td>1,220 t / 年</td> </tr> <tr> <td>注1</td> <td></td> <td>(油量として)</td> </tr> </table>	種	物質の種類：ベンゼン	1,220 t / 年	類	物質の種類：鉛	1,220 t / 年	注1		(油量として)
種	物質の種類：ベンゼン	1,220 t / 年								
類	物質の種類：鉛	1,220 t / 年								
注1		(油量として)								
土砂基準物質の取扱いの内容及び期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベンゼン(ガソリン由来) 1972年(S47) ~ 1992(H4)</li> <li>・ 鉛(ガソリン由来) 1972年(S47) ~ 1987年(S62)</li> </ul>									
土砂基準物質の漏洩等の事故の有無	なし									
6 土砂基準物質による汚染の状況調査の有無 注3	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> ・ 無 ・ 調査中									
7 ダイオキシン対策特別措置法に係る特定施設の届出の有無	有 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span> ・ 不明									
8 その他参考となる事項 注4	なし									

備考 ・ 土砂等の発生場所を明らかにした図面を添付してください

・ 登記事項証明書((登記簿謄本))  
 ・ 過去に有害物質を取扱  
 ください。  
 ・ 指定調査機関による調査

注1 取扱い等をしてきた物を添付してください。

注2 調査の結果、地歴が不明な場合は、調査結果を添付してください。

注3 土砂基準物質による汚染の状況を調査している場合は、その結果書の写しを添付してください。

注4 水質汚濁防止法以外で、土砂基準物質の使用等に関して届出等を行っている場合は、その内容を記載してください。

・ 記載例の場合、ベンゼン、鉛を使用していた履歴が確認されていることから、この2つの物質について、分析調査を実施する必要がある。  
 ・ 記載例の書類のほかに、土壌の汚染状況の調査結果と計量証明の添付が必要になる。

土地の地質情報など汚染のおそれを把握するうえで必要な情報がある場合は、その内容を記載してください。

土砂基準物質の取り扱いがある場合 2

再生土、改良ではない場合  
(通常の土砂等)

(参考様式第 2 号)

土地の利用状況等の調査結果書

1 調査を実施した土地の地番	静岡県駿河区平山 721、722、723、724-1、724-2								
2 土砂等の発生場所の土地の所有者の住所、氏名	静岡県駿河区平山 219 金持善一								
3 調査実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自 社(所属：町中建設(株)設計部 氏名：島田川 溪)</li> <li>・土壌汚染対策法指定調査機関( )</li> <li>・その他( )</li> </ul>								
4 調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料での確認</li> <li>・ヒアリングの実施</li> </ul> (土地所有者、使用者、従業員、その他)								
5 調査内容									
(1) 調査の結果、地歴が判明した期間 注2	西暦 1897 年 月 ~ 西暦 2022 年 7 月 ( )								
(2) 土砂基準物質の取扱いを行っていた工場等の設置の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ・ 不明								
(3) 土地利用の状況(地目)	別添「土地の使用履歴」のとおり								
(4) 土砂基準物質の取扱い等の状況	メッキ工場(水質汚濁防止法の届出あり)								
取扱っていた土砂基準物質の種類及び量	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">種</td> <td style="width: 65%;">物質の種類：六価クロム化合物</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 20%;">80 kg / 年</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>物質の種類：シアン化合物</td> <td>量</td> <td>50 kg / 年</td> </tr> </table> 注1	種	物質の種類：六価クロム化合物		80 kg / 年	類	物質の種類：シアン化合物	量	50 kg / 年
種	物質の種類：六価クロム化合物		80 kg / 年						
類	物質の種類：シアン化合物	量	50 kg / 年						
土砂基準物質の取扱いの内容及び期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロムメッキ用薬剤 1977年(S52)~2000年(H12)</li> <li>・金メッキ用薬剤 1977年(S52)~2000年(H12)</li> </ul>								
土砂基準物質の漏洩等の事故の有無	昭和 59 年 6 月 六価クロム化合物のメッキ槽からの漏洩有り								
6 土砂基準物質による汚染の状況調査の有無 注3	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ・ 調査中								
7 ダイオキシン対策特別措置法に係る特定施設の届出の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ 不明								
8 その他参考となる事項 注4	なし								

備考 ・土砂等の発生場所を明らかにした図面を添付してください。  
 ・登記事項証明書((登記簿謄本(コピー可))を添付してください。

・過去に有害物質を取扱い  
 ください。  
 ・指定調査機関による調査  
 注1 取扱い等をしてきた物質  
 を添付してください。

注2 調査の結果、地歴が不明  
 注3 土砂基準物質による汚染  
 してください。

土地の地質情報など汚染のおそれを把握するうえで必要な情報がある場合は、その  
 内容を記載してください。

注4 水質汚濁防止法以外で、土砂基準物質の使用等に関して届出等を行っている場合は、  
 その内容を記載してください。

・記載例の場合、六価クロム化合物、シアン化合物を使用し  
 ていた履歴が確認されていることから、この2つの物質に  
 ついて、分析調査を実施する必要がある。  
 ・記載例の書類のほかに、土壌の汚染状況の調査結果と計量  
 証明の添付が必要になる。

